

恐竜調査隊が行く

岡山理科大学教授・石垣忍



獣脚類でも肉食へないダチョウ型恐竜

豆知識

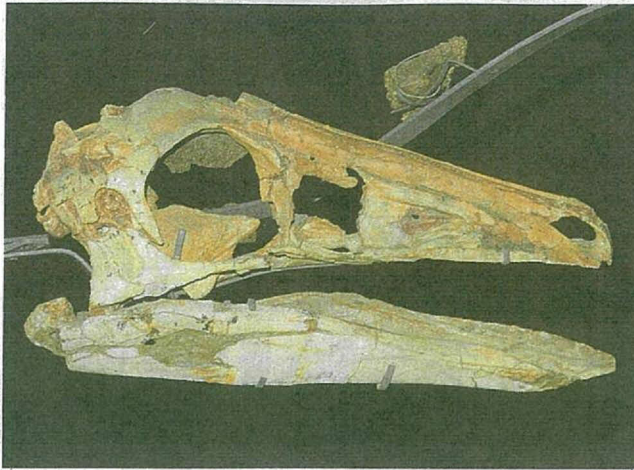
ダチョウ型恐竜 細くて長い首と尾、ずらりとした長い脚を持ちます。恐竜の仲間でおそらく最も速く走れたと考えられています。モンゴルからはガリミスをはじめ、さまざまなダチョウ型恐竜が発見されています。



画：バンバーツォクト

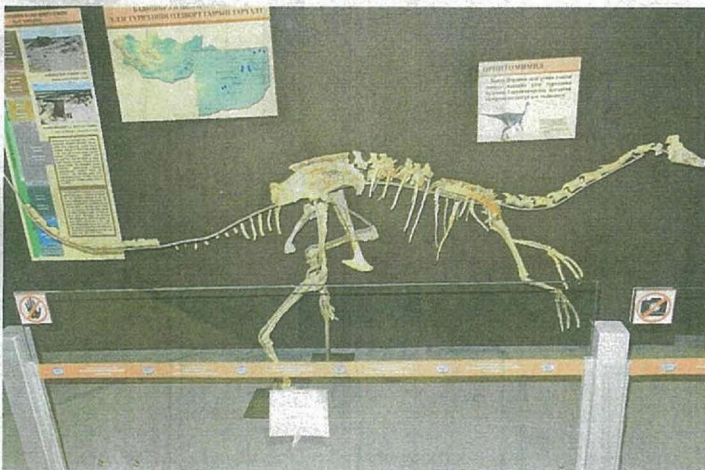
パンダの食べ物？「竹」。何と食べ物のほとんどが竹だそう。ではパンダは何の仲間？「クマ」。そう、さらに、クマ類は、イヌ・ネコ・イタチなどとともに「食肉類」というグループの二員です。パンダは「食肉類」という、肉を食べる動物のグループの一種だけれど、竹ばかり食べている「変な食肉類」なんですね。さて、恐竜の世界では、肉食

恐竜はみんな「獣脚類」というグループで、ティラノサウルスをはじめ、すごいメンバーがそろっています。でもその中に「食肉類」の中のパンダみたいな、肉を食べない「変な獣脚類恐竜」がいるんですよ。たとえばダチョウ型恐竜。この顔を見てください。そもそも肉を切り裂くような歯が一本もありません。頭も小さくて大きな獲物を食べること



ガリミスの頭部。歯がなく、目は大きい。全身に比べて頭はとても小さい(モンゴル科学アカデミー古生物学地質学研究所蔵)

くちばしで植物食べる



ガリミスの全身骨格。現在のダチョウに長い尻尾をつけたような体つきです。(同)

もできません。最近の研究では、全身骨格化石のこの辺に胃があったかな？と思われる部分から細かな石がたくさん見つかり、「これは固い植物をすりつぶすためにのみこんだ小石(胃石といえます)だろう」と考えられました。つまり、植物を食べていたというわけですね。現生のダチョウも植物の葉が主食で、胃の中に石があるそうです。岡山理科大学とモンゴルの共同調査でもダチョウ型恐竜が時々見つかります。実は昨年の夏に採集した標本が3月に大学に届きました。これから岩石から化石を取り出す作業が始めます。さてどんなことが分かるやら、今から興味津々です。